

LPガスCP情報(2015年2月積み)

1. 2月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン450^{ドル} (前月比 +25^{ドル})

ブタン 480^{ドル} (前月比 +10^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が大幅に続落するなか、LPガススポット市況は急落から上昇に転じた。CP先物は第2週まで続落していたが、第3週から石化需要や暖房用需要で在庫の取り崩し、米国輸出量の減少(下旬に25%減)など一時的に需給タイトとなるなか2月着玉を求めて買いが集中、第4週22日には2月CP先物はプロパンで460^{ドル}まで上昇した。期先は6月までバックワーデーション(期先安)だが7月以降は緩やかな傾斜でコンタンゴ。極東CFRは月間で上昇が続き、第4週でプロパン548^{ドル}、ブタン584^{ドル}と月初から100^{ドル}上昇。フレート市況は船舶需給が中旬からタイト化し上昇に転じた。バンカーオイルは前月から300~400^{ドル}台から大幅に続落し、270~280^{ドル}台で推移。ナフサは原油市況の急落で続落し第4週は425~435^{ドル}で推移、月間平均前月比110^{ドル}の大幅続落。一方、米モンテベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の軟化を受けて12日に235^{ドル}まで下げたが、プロパン在庫の減少で反発、26日には260^{ドル}に戻した。

2月CPは前年同月比プロパン520^{ドル}、ブタン490^{ドル}の下落。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン、ブタン39ポイント上昇、前年同月比ではプロパン15、ブタン23ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	—	58	70	87	71
CP先物指標:P	—	350	375	455	393
CP先物指標:B	—	390	420	495	435

② 原油市況等

原油市況をみると、1月WTIは52^{ドル}台でスタートしたが続落して推移、28日には終値としては2009年3月以来の45^{ドル}割れ、44.45^{ドル}まで値を沈めた。11月OPEC総会以降、サウジはじめシェア重視の方針を表明、一方、米原油生産量はEIA統計(1983年~)で最高の921万b1/dを記録、米国原油在庫も統計史上最高の406百万バレルまで積み上がった。また、イラクも過去最高水準の400万b1/dまで生産が増加、世界的供給過剰感が高まった。原油先物市場は総取組高が167万枚と昨年7月以来の水準に増加したが、大口投機玉の買越残高は28.1万枚で同時期の3分の2に止まっている。

○1月積みアラビアンライト(1月2~28日)は44.09^{ドル}(前月比-16.5^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン361.48^{ドル/トン} ブタン356.52^{ドル/トン}
AL比 プロパン124.49% ブタン134.63%

2. 2015年1~2月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	118.92	53,514	57,082	+2,400	+600
26~25日②	119.80	52,400	56,900	-6,100	-5,500
1~30日③	119.33	52,200	56,700	-6,500	-5,900

*TTS平均は①が1月16日~1月30日まで、②は12月26日~1月25日

③は1月1~30日、①は3月仕切への影響、②~③は2月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。